

**令和 6 年度都留市地域公共交通会議及び
都留市地域公共交通活性化協議会 第 3 回会議 会議録**

日 時		令和 7 年 2 月 19 日（水）13：30～14：45
場 所		都留市消防署 2 階 大会議室
出席者	委員	鈴木 健大、大竹 太、相川 義美、鶴田 寛、安富、康雄、篠原 勇、菊島 貴、古屋 毅（代理人出席）、木村 尚寛、内藤 公晶、矢野 久（代理人出席）、服部 陽介、奥田 壮一
	オブザーバー	富士急バス株式会社 大月営業所 武藤所長
	幹事	山口 哲央、鬢櫛 美咲、小宮 文彦、清水 正彦、高山 竜一
欠席者		水越 洋、高橋 弥尚
事務局		笠井課長、亀田課長補佐、蛭間リーダー、齊藤、小野田

1 開 会（司会：笠井課長）

2 市長あいさつ（都留市長 堀 内 富 久）

3 報告事項

（1）公共交通の再編（案）について

資料 1 により説明

質問・意見等

相川委員：私は三吉地域に住んでいるが、循環バスがデマンドタクシーになると、フーズマーケットおかじまや都留文科大学前駅の方面には行けなくなるのか。

事務局：三吉地域につきましては、デマンドタクシーと AI デマンド交通でカバーする予定です。先に資料 2 の 10 ページにデマンドタクシー三吉線の時刻表を見ていただくと、基本的に既存のバス停をそのまま使うような形でバスがなくなっても不便にならないように考えています。先ほどのご質問に関連する点で言いますと、37 番で都留市駅まで行く予定となっておりますが、例えば地域の要望等でもう少し延伸したいという意見がありましたら検討させていただきたいと思っております。また、AI デマンド交通がバイパス沿いを走るため 2 種類の交通で補完する形になります。

相川委員：宮原から都留文科大学方面に行く場合、途中で乗り換える形になるのか。

事務局：宮原方面については、AI デマンド交通の範囲となっているが、住んでいる場所や行きたい場所によっては、都留市駅などでの乗り換えが必要になる場合もあり、端から端までの移動を 1 つの交通で完結させるのはなかなか難しい。

鬢櫛会長：循環バスの路線は一旦廃止し、山合いごとにデマントタクシーを動かす案になりますので、どうしても乗り換えは生じるところもあるということで、ご理解いただきたいと思います。

安富委員：デマンドタクシーの場合は予約が必要で、予約がない場合は動いてないと思われるが、AI デマンド交通で予約がない場合は、朝から夕方まで待機しているのか。

事務局：同じデマンドですので、予約がなければ待機をしている形になります。

贅櫛会長：運行形態については、この後プレ運行ということで詳細をご説明させていただきますので、またそちらを聞いてご質問をお願いいたします。今回、公共交通の再編というところで、これまで走っていた循環バス・路線バスを廃止し、主に国道沿いを AI デマンド、それぞれの山間地域をデマンドタクシーに入れ替えていきたいという説明でした。

(2) 都留市「新しい公共交通」令和7年度 プレ運行について

資料 2 により説明

質問・意見等

贅櫛会長：プレ運行から本格運行のスケジュールについて、事務局としては 2 案の方でいきたいということでしたので、合わせてご協議をお願いいたします。

相川委員：AI デマンド交通について、事前登録が必要ということであるが、携帯電話（スマホ）で事前登録や予約をするのは、なかなか難しいところがあるので、コミュニティセンターやいきいきプラザで代理登録（予約）をしてもらえる体制があれば良いと思ったので検討いただきたい。また、新しい交通に代わるという広報も早めにしていきたい。後は、現状の路線との比較でのメリット・デメリットがあれば教えていただきたい。

事務局：登録については、携帯電話（スマホ）のほか、申し込み用紙でも対応できるように考えています。また、広報周知については、各地域での説明会も開き、地域の皆さまの声を十分聞いた上で、より良い公共交通を作っていきたいと考えています。

新しい交通形態になると、どう良くなるかというご質問につきましては、三吉地区で言いますと、循環バスが通っており広い範囲をカバーしていますが、右回りと左回りがあるというところで、行きたい方向と逆回りになってしまうといった不便があるかと思うので、AI デマンド交通であれば、行きたい場所に好きな時間に行ける「便利な交通」が目指せるかと思っております。

笠井課長：補足で説明させていただきますと、相川委員がおっしゃるとおり、各コミュニティセンターでの登録・予約のお手伝いの他、市立病院の窓口にも人を配置して来た方に登録をしてもらうといった方法も考えている。今回は、高齢者の足の確保というところも大きなポイントでございますので、そういった方が無理なく登録申請ができるような形を考えていきたいと思っています。

贅櫛会長：事業を進める中で、こうしたらいいのではないかなど改善についてのご意見も出てくるかと思いますが、その都度またお声の方を届けていただければありがたいと思います。

鈴木委員：ちょうど1年前に大学として実証運行に協力させていただいた時は、運賃が無料だったということもあり、私も何回か乗らせていただき、学生や地域の方たちにも大変好評だったのを覚えております。実証運行終了後、学生や飲食店の方などから、その後どうなったのかをよく聞かれていたのですが、このような形になるということで良いことだなと思いついて聞いておりました。私からは2点お伺いさせていただきます。1つ目は、公共交通はどうしても福祉的な視点がないと、特にこういった地方都市では継続が難しいのかなと思っております。本来であれば、事業者さんの独立財産みたいな形で成り立てばいいんでしょうけど、なかなか人口とか人口構成が急激に変化する中でそれは難しいのが現状。公共交通を利用するは、高齢者や大学生の割合が多いと思いますので、採算性や補助金との兼ね合いがある課とは思いますが、その方たちが気兼ねなく使ってもらえるような値段設定がすごい大事なのかなと思っております。次の実証の時にそういったところで広く意見やデータが取れると良いのかなと思いました。例えば、富山なんかですと、高齢者がお孫さんと一緒に LRT（Light Rail Transit の略で、低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する軌道系交通システムのこと）に乗れば、市内の公共交通施設が無料になるとか、あとはお出かけ定期券みたいなのを作っていたりしますので、都留市もそういった高齢者とか大学生向けに、定期券とか回数券とかを検討していただきたい。もっと戦略的に考えると、例えば大学も生徒募集に苦労していますので、大学生にとって出かけやすいようなパスみたいなものがあったら良いのではないかなと思いました。もう1点は、まちづくりの視点で考えると、せっかくこのような再編が行われますから、例えば経済関連部署と連携して AI デマンドなどを使った画面を見せれば、ラーメンの玉子1個サービスになるとか、ポイントが2倍になるとか、そういった市内全域で盛り上げるような経済効果にも絡めさせられると良いのかなと思いました。

事務局：料金設定につきましては今後検討していく必要があると思いますが、現状は既存公共交通の200円～300円程度で考えています。鈴木委員がおっしゃるとおり、属性によって利用頻度とか交通の重要度は変わってくると思いますので、サブスクや回数券などの工夫をしていければと思っております。まちづくりの観点につきましては、企業とのタイアップは必要と思っております。実際にカインズさんが他市において公共交通で来たらポイントをあげるということもやっていますので、そういったところと協力して公共交通で出かける機会、出かけられる機会を作っていけたらと思っております。

笠井課長：先ほど「高齢者の足」というお話をさせていただきましたが、本市では「健康ポイント手帳」というものがあります。公共交通を使って外に出ることだけでも介護予防につながるとも言われていますので、例えば、そういうポイントとタイアップして「公共交通を使って外に出たらポイントついて、市内のお買い物に使える」というような施策で、なるべく公共交通を使いながらお出かけしましょう、というような空気を作っていきたいと考えております。

贅櫛会長：市役所の中でもワーキンググループで横断的に様々な担当が入っておりますので、その中でもこの情報も共有させていただきたいと思います。

4 その他

5 閉 会（14 時 45 分終了）

閉会後に小野田主事が聞き取った意見について

安富委員：AI デマンド交通を全域に走らせた方が良いのではないかと。その方が市民が迷わなくて済むと思う。

事 務 局：市としてもそうしたいが、予算的に難しい

安富委員：プレ運行をやっている最中に、うまくいかなかったらどうするのか。

事 務 局：プレ運行中に効果検証を行うため、適宜修正していく

閉会後に富士急バス・ハイヤーと蛭間が話した内容について

富 士 急：A 案 2 のスケジュール（プレ運行途中で手続きをする）では、対応が難しい、また、現状、令和 7 年 10 月スタートでは人員確保の観点等から対応が難しいかもしれない。

事 務 局：あくまで現時点での案であるため、事業者との協議が整わないと進められないことは承知している。可能性としては、プレ運行が令和 8 年度に後ろ倒しになり、プレ運行と本格運行を令和 8 年度に行うこともある。